



04 特集 JAの未来

広域中玉トマト部会設立

安定供給で目指せ販売高1億円!

10 農業情報

12 旬の料理 うるいの博多蒸し

うるいの博多蒸し

うるいの春らしい色合いと、とろけるような鶏挽肉のやわらかさ。
優しい餡の味で満たされます。



- 博多蒸し：材料（4人前）
うるい…8本、鶏もも挽肉…200g
片栗粉…適量、練り辛子…適量
[鶏肉下味] 卵…½個、酒…大さじ1
醤油…大さじ1、砂糖…一つまみ
[餡] 出し汁…150cc、濃口醤油…大さじ1
水溶性片栗粉…適量
- 梅肉和え：材料（4人前）
うるい…2本、山ウド…3cm、梅干し…2個
味醂…大さじ1、醤油…大さじ½
レモン汁…小さじ1、サラダ油…小さじ2
焼き海苔・鰹節…適量

ワンポイントアドバイス

食べやすい大きさに
切り分け、餡をかけて
お召し上がり下さい。
練り辛子がよく
合いますよ。

伊藤伸也 / 「山形調理師専門学校」和食担当教員。/
山形調理師専門学校は昭和46年開校。有能で人間性豊
かな調理師の養成を目標に、プロをめざした実践活動を
モットーとして学習をすすめています。
山形市六日町7-42。TEL.023-641-8345(代)



1 [博多蒸し] うるいの根元に切り込みを入
れ、塩茹でし冷水に取る。水気をふいで
手で裂き、型に合わせて切り揃える。



2 粘りが出るまで鶏挽肉を練り、下味用の
調味料を加え、更にやわらかくなるまで
練る。型に半分敷き、薄く片栗粉を振る。



3 うるいも半分敷き、薄く片栗粉を振る。
もう1度繰り返し層にする。ラップして40
分程強火で蒸す。出し汁と濃口醤油を合
わせ火にかけ、水溶性片栗粉で餡を作る。



4 [梅肉和え] うるいは1枚ずつばらし塩茹
でして切る。山ウドは短冊に切り、酢水で
灰汁止めする。水分を拭き取り、梅・調味
料と和え、焼き海苔・鰹節と合わせる。

読書のススメ
新しい発見を
あなたへ
お問い合わせ
経済課
TEL.624-8567



100歳までボケない 常備菜で10分レシピ

白澤卓二 / 牧野直子 著

アンチエイジングの権威である白澤さん
と管理栄養士の牧野さんが共著。ヨーグ
ルトや塩麹の発酵パワーを生かし、若々
しさを保つレシピを紹介しています。



伝承農法を活かす 野菜の植えつけと種まきの裏ワザ

木嶋利男 著

収量や、野菜のおいしさは植えつけの
仕方次第で決まる? 同書には木嶋さんによる
「結果に差が出る裏ワザ」が満載です。
イラストも豊富で読みやすいです。

あとがき

年に1度の紙面リニューアル。広報紙「JAやまがた」の読者は約1万3,000人いらっしゃるの、「良くなった」と感じる方もいれば、「前の方が良かった」と感じる方もいらっしゃると思います。今月号6ページに掲載している「広報紙モニター」は、読者の方から率直なご意見をいただき、さらに良い広報紙を目指して募集するものです。読者である組合員の方のご意見が、何ものにも代えがたい一番大切なものです。

地区別座談会

2月に行われた地区別座談会で、
ご質問の多かった事項について紹介します。

経営状況の改善に向けた 取り組みについて

営農施設の再編や農産物の二元販売の推進、信用・共済事業の収益力強化に向けた対策の検討などを行ってまいります。外部コンサルタントの意見も取り入れながら、役員一丸となって経営状況の改善に努めます。

改正農協法の成立による 理事構成の変更について

平成28年度の役員改選において、役員数と構成等に変更はありません。法改正の経過措置として、理事の要件規定は、法律施行後3年（平成31年3月末まで）以降かつ最初に開かれる通常総代会までは適用しないものとされたためです。

平成31年度の理事構成については、原則として過半数が「認定農業者または農産物販売・法人の経営などに関し実践的な能力を有する者」でなければならないとされています。現在、当JAの理事につ

いては過半数以上が認定農業者となっております。

平成27年度の 出資配当について

新たな自己資本規制（バーゼルⅢ）が導入され、自己資本の充実をはかる必要があること、また施設の統合再編に伴う減損損失が増加したことから、平成27年度の出資配当は行わず、内部留保の確保に重点を置く方針です。

遊休施設の 利活用について

遊休施設は老朽化が激しく修繕費も多額になると予想されるため撤去を原則としておりますが、ご要望に応じて譲渡や賃貸を行っております。利活用の際は、地域貢献の観点から地元の方からのご要望を優先的に伺っています。当JAの施設は市街化調整区域（都市計画法により開発や建築が限られている

地域）にあることが多いため手続き等に制限がありますが、可能な限り有効に処分できるよう努めます。

移動店舗車の 導入について

平成28年8月に導入予定です。信用端末機を搭載し、車内に窓口を設置します。お取扱いできる取引や運行ルートなどについては、決まり次第順次ご案内いたします。

マイナス金利の 影響について

当JAが保有する国債等の有価証券の評価にはプラスに働く一方で、信用事業では住宅ローンなどの金利低下による金利収入の減少、共済事業では予定利率の低下や付加収入の減少などマイナスに働きます。当JAは信用・共済事業の損益に占めるウエイトが高く、マイナスの影響を大きく受けます。収

ふるさと納税への 対応について

サクランボ、米を中心に、二市二町の返礼品として注文をいただいています。市場出荷分が不足しないようバランスを取りながら対応していきます。特にサクランボは「サクランボ安定生産・集荷拡大運動実施要領」を定め、営農経済部が一丸となり、生産者への訪問活動を通じて集荷量拡大を図ります。企画販売と市場出荷を組み合わせ、有利販売につなげていきたいと考えております。どうぞご協力をお願いいたします。

青果物の二元販売、 庭先集荷の方針について

平成27年度はサクランボ、デラウエアを二元販売し、単価高で終了することができました。平成28年度はスモモ、モモも二元販売する予定です。庭先集荷は集荷運賃等の問題を含め、部会と連携しながら実施に向けた検討を進めていく予定です。

担い手支援対策について

平成27年度から始まった「JAやまがた担い手経営体・新規就農者育成支援事業」に沿い、地域の担い手を明確に定め、新たな農業者の確保に努めています。同事業では多くの担い手を育成するため、支援対象者を広く設定しています。

営農、販売担当者の 人事異動について

営農、販売業務については専門的な分野ですので、計画的な人事異動を心掛けてまいります。また、適正な引継と、周囲がしっかりサポートできる体制を整備していきます。コンプライアンスの遵守や不祥事未然防止の観点から、定期的な人事異動が必要であることもご理解願います。

経済配送担当、 きずな担当の 体制について

経済配送担当は11名、きずな担当は10名を配置しています。経済配送担当による配送は、昨年中央営農センター管内のみでしたが、今年は管内全域にエリアを広げます。外部委託費の削減に加え、組合員の皆様とJA職員とのつながりを強化します。

きずな担当は大規模農家、担い手、生産法人等への積極的な渉外活動を展開します。営農企画指導員TACTと連携し、生産資材や肥料等、組合員の皆様への最適なご提案を通して、購買事業の利用拡大、農産物の集出荷拡大につなげていきます。

支構造を改善し、安定した経営を行ってまいります。



シンディースイート
甘味と酸味のバランスが良く、濃厚な味です。色まわりが良く外観にも優れます。
写真提供：(株)サカタのタネ



ロッソナポリタン
糖度が Brix 9~11%と高く、生食にも加熱調理にも向きます。極早生で葉が小さく、園地内が暗くなりやすいです。
写真提供：バイオニアエコサイエンス(株)



カンパリ
昔のトマトらしい風味を持ちます。房ごと収穫する際全てのトマトが赤くなってから収穫でき、完熟したおいしさを味わうことができます。



今月の表紙 武田将孝さん、政則さん(父)
将孝さんはホテルのフロントマンを経て2013年4月に就農し、主に中玉トマト、キュウリを生産しています。一日の終わりに、父の政則さんと「今日も頑張ったね」と晩酌するのが楽しみとのこと。『仕事を覚えていく中で、自分のできるが見えてくると思うので、今は将来に向けて基礎を固めていきたい』と話していました。



お話を伺った広域中玉トマト部会の佐藤勇大部長。

—— 重点的に出荷する品種等はありませんか。
佐藤 部会員のうち9割が栽培している「シンディースイート」を主力品種としています。加えて「ロッソナポリタン」、房で収穫する「カンパリ」も出荷します。格付けは実割れ、つや無し果、軟化玉などが混ざらないよう厳正に行い、品質の均一化と、部会としての信頼を高めたいと考えています。

—— 部会として取り組んでいきたいことを教えてください。
佐藤 今考えているのは、出荷する際の「愛称」を決め、差別化を図ることです。中玉トマトはスーパーなどの売り場は充実していますが、似たようなものが並んでいて消費者はどの中玉トマトを選ばいいのか判断が難しいと思います。部会独自の「愛称」を決めて出荷することで、バイヤーの方が差別化して売り出しやすくし、消費者の方に「JAやまがたの中玉トマト、おいしかったからまた食べたい」という印象づけをしていきたいと思っています。例えば熊本県の干拓地で作られる「塩トマト」などは、食味が良いことに加えて、独自にネーミングしているので差別化に成功しています。

—— これから部会員が増えればいいですね。
佐藤 はい、仲間は多い方がいいですね。中玉トマトを作りたいという方は大歓迎です。市場の方が話していたのですが、トマトは「好きな野菜」「体に良さそうな野菜」1位とのこと。安定した需要が今後も見込まれます。各地区で若い中玉トマト生産者も増えていきますし、部会としても栽培方法や技術などを部会員同士で共有していきたいと考えております。

—— 広域中玉トマト部会、今後の活躍が楽しみです。本日はありがとうございました。

シンディースイートを中心に 共選出荷の強みを生かす

部会として「愛称」を決めて 差別化を図る

市場への安定供給で 有利販売につなげたい

—— 部会設立のきっかけを教えてください。
佐藤 中玉トマトの生産者は、今まで西部中玉トマト研究会、中央中玉トマト研究会、房付きトマト研究会、ロッソナポリタン研究会に所属していました。4つの研究会を合わせる生産者が98名いて、研究会ではなく部会として活動できる規模になったことがひとつのきっかけです。



設立総会

—— 広域部会になったことによるメリットは何ですか。
佐藤 市場へ安定供給できることが、やはり一番の強みです。市場の立場になれば、出荷量に波があるところより、常に過不足なく出荷してもらえるところに高値をつけるのは当然だと思えます。部会として市場対策や販売促進もしやすくなるので、市場



昨年からはまった宮浦小学校への中玉トマト贈呈。



人気の野菜ランキングで常に上位の「トマト」。その中でも中玉トマトは、手ごろなサイズと食味の良さなどで、常に高い需要を保っています。今回は3月に新しく発足した「JAやまがた広域中玉トマト部会」の佐藤勇大部長にお話を伺いました。

—— 部会設立のきっかけを教えてください。
佐藤 中玉トマトの生産者は、今まで西部中玉トマト研究会、中央中玉トマト研究会、房付きトマト研究会、ロッソナポリタン研究会に所属していました。4つの研究会を合わせる生産者が98名いて、研究会ではなく部会として活動できる規模になったことがひとつのきっかけです。



広域中玉トマト部会設立

安定供給で目指せ販売高1億円!

この信頼関係を築いていくなから、今年販売額1億円を達成したいです。さらに、今までは地区ごとに行っていた講習会も広域としてできるので、細かな栽培方法の違いなどを学ぶことができるのもいいですね。

貯金金利の変更について(お知らせ)

JAやまがたでは、日本銀行のマイナス金利政策導入に伴い、全国の金融機関が店頭金利の引下げを行っていることを踏まえ、貯金金利の変更を実施致しましたので、右記のようにお知らせします。※詳しくは窓口でご案内いたします。

実施日	貯金種類	貯金利率
平成28年 2月22日(月)	定期貯金 (スーパー・大口定期)	0.025%
平成28年 3月1日(火)	普通貯金	0.001%

お問い合わせ 金融部 貯金業務課 TEL.023-624-8268

第14回理事会(2月26日開催)内容より

● 報告事項

- 山形県農村工業農業組合連合会の解散
事業の全部をJA庄内みどりの子会社である「株式会社みどりサービス」に譲渡し解散することが、平成28年1月15日の連合会総会で決定したことが報告されました。
- JAやまがた農業振興計画
平成28年度から平成32年度までの農業振興計画が報告されました。
- 平成27年度
JAやまがた営農振興策支援事業
担い手支援や雨よけハウス導入支援など、46件の申請に対して補助金を拠出したことが報告されました。

● その他の報告事項

- 平成28年度監事監査計画
- 系統債権管理回収機構(株)への債権売却
おいしさ直売所南館店備品購入に係る
入札結果

● 協議事項

- 平成27年度JA全国監査機構期中監査I改善
指示書及び改善対応策
- 平成28年度内部監査計画書
- コンプライアンス・マニュアルの一部改正
- 平成28年度「コンプライアンス・プログラム」
の設定
- 平成28年度余剰金運用方針および運用計画

DIRECTOR'S OPINION 2016 役員より VOL.13

未来へ農業をつないでいくこと

理事 佐東順一

JAは、「組合員の営農と生活を守ること、地域社会に貢献すること、地域農業を守り育てること」を基本理念に発足しました。それから今までの約70年間において、地域や農業をめぐる環境の変化にJAも対応してきたものの、基本理念からは逸脱することなく事業を継続してきました。

「地域農業を守り育てること」は、現代のJAに課せられた大きな使命です。中山町豊田地区では、豊田大豆転作組合が幅広い年齢層が組合員となって転作田の管理をしています。若手とベテランが一体となって農業を盛り上げていくことで、農業を取り巻く不透明な状況を打破できる、強いパワーが生まれると感じています。

未来へ農業をつなぐためにどのような支援ができるのか。自分が組合員のため、地域のためにできることを常に考え、事業に邁進していきたいと思えます。



当広報紙へのご意見・ご感想に加え、テーマに関するエピソード・写真・絵葉書なども募集しています。
※紙面に限りがあり、ご応募いただいたものを全て掲載できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

読者の広場

4月号のテーマ



イチゴ



(山形市 Kさん)

●父は勤め人でしたが、家の庭にはリンゴの木が3本、畑には野菜、そして少しばかりのイチゴが植えてありました。小学生の私は帰宅するとイチゴをもぎ取り、その多くを食べていました。父はいつも「やられたー!」と笑っておりました。父が亡くなって7年になります。イチゴと父がだぶって思い出されます。(山辺町 Aさん) ●小学生の頃のAさん、なかなかのおてんば娘です。お父様は、Aさんの笑顔が見たくてイチゴを植えていたのかもしれないね。

●**応募方法** / 「JAやまがた広報係」まで、下記のいずれかの方法でご応募ください。応募者の「氏名、住所、電話番号」も忘れずにご記入ください。

郵便 〒990-8535 山形市旅籠町一丁目12-35
Eメール kikakukanri@jayamagata.or.jp

●**締切** / 4月25日(月) (当日消印有効)

●**プレゼント** / ご応募いただいた方の中から抽選で3名の方に「おいしさ直売所商品券」1,000円分をプレゼント。当選者は発送をもってかえさせていただきます。



「広報紙 JAやまがた」 モニター募集!

組合員の皆様に寄り添い、より充実した広報紙を発行するため「広報紙 JAやまがた」のモニターを募集いたします。

対象者

「広報紙 JAやまがた」の読者の方
平成29年4月まで継続してJAやまがた管内にお住まいになる予定の方

募集人数 20名程度

モニターの決定については、締切後応募者全員にご連絡いたします。

任期 平成28年5月～平成29年4月(1年間)

お願いする内容

- 広報紙の内容等に関するアンケートへのご回答をお願いいたします。
- アンケートはA4片面で、広報紙発行ごとに1回(年12回)を予定しています。
- 広報紙をお届けする際、アンケートと返信用封筒をともにお渡しいたしますので、郵送にてご返信ください。

謝礼

12回のアンケートのうち6回以上お答えいただいた方には、「JAやまがたおいしさ直売所商品券3,000円分」を贈呈いたします。

応募方法

お名前、住所、電話番号をご記入の上、「広報紙 JAやまがた モニター募集係」まで、ご応募ください。

- ① 郵送 〒990-8535 山形市旅籠町1-12-35
- ② ファックス 023-631-4714
- ② Eメール kikakukanri@jayamagata.or.jp

応募締切 5月16日(月) 当日消印有効

お問い合わせ
経営管理部 総合企画広報課
TEL.023-624-8265

情報提供窓口について

当組合の監事は、経営の健全な発展に資するため、農協法第35条の5および農協法施行規則第81条に基づき、理事の職務の適正な遂行を阻害する行為に関する情報(組合経営に関する事象に限る)の提供を求めています。当組合の理事の組合経営に関する気になる行為について、見たり聞いたりした事柄があれば電話又は封書にて、下記宛に連絡くださいますようお願いいたします。

山形農業協同組合 監事会

住所 山形市旅籠町一丁目12番35号
電話番号 023-624-8554
(受付:月～金、9時～17時)
部署名 内部監査室(監事会事務局)
受付監事 常勤監事 土屋 均一 宛

※ご好意による情報提供であっても、誹謗・中傷に類似する内容のものは受付いたしかねます。
※当組合の業務に関する一般的な苦情については、各支店・センターにご相談をお願いいたします。各業務に関するご相談は、本店でもお受けしております。

総代会資料について

■各事務所への備え置きについて

農業協同組合法により、総代会資料は通常総代会の2週間前から、主たる事務所に備え置き、組合員の閲覧に供することが義務づけられています。当JAでは4月28日(木)から各事務所に総代会資料を備え置きますので、ご覧ください。

■お渡しする時期について

総代の皆様には、総代会の前にお渡しいたします。正組合員の皆様には、総代会終了後、広報紙とともにお届けします。

お問い合わせ
経営管理部 総合企画広報課
TEL.023-624-8265



長崎蔬菜生産研究会 連作障害対策の研修会を実施

3月28日、長崎蔬菜生産研究会は長崎支店で連作障害対策研修会を開き、土壌消毒の方法等について検討しました。同会では昨年4月から9月まで、土壌中の病害虫防除の適切な方法を調べるため、村山総合支庁と連携しながらオクラ園地の地温を測定していました。測定の結果、期間内の地温は25℃前後で、8月下旬から9月上旬にかけて太陽熱消毒ができることを確認しました。細谷善助会長は「土壌消毒と適切な施肥で、収量増を目指す」と呼びかけ、研究会全体で土壌診断に取り組みむことも決まりました。今後も高品質な農産物生産に向け、随時研修会を実施していくとのことです。



写真提供：山形県村山総合支庁

つや姫生産者認定証交付式 当JAの生産者は301名に

3月14日、山形市のパレスグランデールで平成28年産つや姫生産者認定証交付式が行われ、県内から約300名の生産者らが参加しました。つや姫が本格的に栽培され始めたのは平成22年で、今年7年目になります。当JA管内のつや姫生産者も年々増加し、平成28年産は301名が認定されています。つや姫を栽培するには一定の面積要件をクリアすることが必要でしたが、平成28年産から中小規模でも栽培できる「特別認定」の枠が設けられ、県内のつや姫生産者は特別認定が211名、通常申請の591名を合わせ、過去最高の5320名となりました。



広域花木部会の研修会。様々な 枝ものの栽培管理を学びました

3月4日、広域花木部会は西部集荷場で一般花木類栽培管理講習会を開き、14名の生産者らが様々な花木の栽培管理を学びました。佐藤昇部会長は「広域部会で様々な花木の栽培管理の研修会は初めてなので、資料を読み込んで勉強しよう」とあいさつしました。研修では村山総合支庁の酒井友幸専門普及指導員が、スノーボールやライラック、アジサイといった枝ものの管理を紹介しました。部会員らは株間の取り方や温度管理等について質問しながら理解を深めていました。



水稻種子鉄コーティングスタート 今年は前年比2倍の申し込み

3月7日から、水田への直播栽培に向けて、本沢育苗センターで種子の鉄コーティング作業が行われています。昨年当JA管内では「はえぬき」13haが直播栽培されましたが、今年は約18haが栽培される予定です。それにとともに、鉄コーティングの依頼量も1000kgと、前年比2倍となりました。当JAでは「直播栽培」を生産コスト削減に向けた有効な取り組みであると位置づけしており、今後も営農企画指導員TACTを中心に圃場の巡回、指導に力を入れていく方針です。



今年は1週間以上早い生育 本沢アスパラガス目揃え会

3月22日、本沢そさい部会アスパラガス研究会は、久保手農業倉庫でアスパラガスの目揃え会を開き、約15名の生産者らが参加しました。当日は朝どりアスパラガスが約150kg出荷され、生産者は穂先の曲り具合等を手に取りながら確認していました。今年は例年に比べて生育が一週間ほど早く、3月9日から出荷が始まっています。山形丸果中央青果株式会社柏倉隆文さんは「アスパラガスは輸入ものも多いが、鮮度や甘さ、根元まで食べられることなど、国産の優位性を売りにしていきたい」と話していました。今年同研究会では、前年並みの約13トンの出荷を計画しています。



畜産連絡協議会通常総会 玄米の飼料化に成功したことを報告

3月3日、本店で畜産連絡協議会第19回通常総会が開かれ、生産者や2市2町の担当者らが参加しました。協議では玄米の飼料化に関する経過が報告されました。11月25日に「はえぬき」の玄米を破碎、乳酸菌を添加して発酵させたものを2月10日に開封したところ、飼料に十分適した状態のものが完成。今後は畜産試験場などと連携しながら、給与に向けた取り組みを進めること、循環型農業に向け地域の稲作農家との連携を深めることなどを確認しました。



脳梗塞の前兆と初期症状

毎日の生活の中で「これくらい…」とつい見逃してしまう前兆と初期症状ですが、素早く対処することでリスクを軽減することができます。以下の症状に気が付いたら医療機関を受診してみましょう。

- ・体の片側に力が入らない
- ・片側の目が突然見えなくなる
- ・箸やペンが持ちにくい
- ・視野の半分が欠ける
- ・ろれつがまわらない
- ・片方の口元が上手くあかない
- ・しびれを感じる
- ・「前にならえ」をすると片腕が下がる
- ・言葉の意味がわからなくなる



これらの症状は24時間以内に消えますが、そのまま放置すると数日以内に脳梗塞を発症する確率が高くなるといわれています。自分はもちろん大切な家族や身の回りの方を守るためにも知っておいてください。

お問い合わせ **福祉センター青田 TEL.023-616-8002**
介護サービス事業 / 通所介護・訪問介護・福祉相談窓口

3月の通所介護



いっぶくツアー ドラゴンカフェ



ボランティア教室
女性部南沼原支部花笠愛好会



創作教室 タペストリー風
スプリングハット作り

組織活動 紹介コーナー

はれやか！ 女性部

3月12日、第18回通常総代会が開かれ、各地区の総代の皆さんが参加しました。

おらだがないと女性部がなくなってしまう、がんばるべ！という気持ちで女性部を盛り上げていきましょう。(岸あや子部長)



青菜漬、ジュース加工などの六次産業化事業、わんぱくあぐりスクールに代表される食育事業への協力など、本当に素晴らしい活動だと思う。これからも継続していこう。(鏡恵子理事)



平成27年度 活動報告



9月26日 わんぱくあぐりスクール
お団子作り協力



1月23日 新春のつどい



1月22日 手芸コンクール



どれも素晴らしい作品でした！
(佐藤吉子理事)

各支部でも元気に活動中！



7月22日 ラフターヨガセミナー
(山形地区)



9月12日 家庭でできる
アイデア料理教室(宮川支部)

お問い合わせ **営農経済部 経済課 TEL.023-624-8567**

農業情報



平成27年4月14日 露地サクランボ開花前講習会



きずな担当・ 経済配送担当進発式 3月29日 本店

進発式には各グリーン店長や、きずな担当、経済配送担当らが参加し、情報を共有しました。今年から管内全域の配送をJA職員が行うことについて、板垣平治郎代表理事組合長は「組合員のもとへ多く訪問することで、きずなを深めてほしい」と激励しました。グリーンやまがた中央の宇治川剛さんは「事業目標の達成に向け

関係部署と情報の共有を図り、一致団結していく」と、決意を新たにしました。経済配送担当の田中和行さんは「安全運転に徹底し確実な配送に努め、組合員の皆様とのつながりを強化します」と発表しました。

サクランボの結実確保！ 凍霜害の防止対策を徹底しよう

昨年は…
4月9日、低温に遭遇し、雌しべの枯死が多く発生しました。

凍霜害の防止対策

■**燃焼資材の利用**
雨除け施設のビニルを被覆したり、防風ネットを設置したりすると効果が高まります。燃焼資材はご近所へ配慮し、煙の少ないものを使いましょう。

■**樹への散水**
安定した水源と電源があり、排水が良い園地では有効です。氷点下の時間帯に常に水をかけ続け、水が凍るときに発生する熱を利用して花芽を守ります。



低温に遭遇してしまつたら…

■**人工受粉の徹底実施**
樹上部や生育が遅い部分は、被害を免れている可能性があります。5分咲き〜満開3日後まで、毛ばたき受粉を繰り返し行いましょう。

■**受粉樹の切り枝設置**
凍霜害を受けていない園地から採取した切り枝を設置するなど、受粉樹の花粉の確保に努めましょう。昨年、紅さやかの切り枝付近で結実が良いという結果が出ています。

■**十分なかん水**
生理落下の防止や、果実の初期肥大の促進に効果があります。

花芽の残し方の工夫

地上から2メートル以下にある枝は、被害にあいやすい傾向にあります。摘芽作業を遅らせるか、花芽を通常より多く残しましょう。

各営農センターでも
広報車で巡回し、
霜への注意を
呼びかけています。



春の茎葉除草剤キャンペーン 6月15日(水)まで実施中！

ご注文は
きずな担当、
経済配送担当へ

各グリーンでも
キャンペーン価格で
販売しております。

